第９章　その他の取引①

９－１　未収金・未払金

【重要性：B】

ＰＯＩＮＴ！

①　未収金・未払金の内容を理解しよう！

②　発生と消滅の仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「未収金」勘定（資産）

「未払金」勘定（負債）

（１）未収金とは？

取引時には代金を受け取らず、後日、一定の日に代金を受け取る場合があります。この後日受け取る代金（権利）は、商品を売り上げた時は「売掛金（うりかけきん）」勘定（資産）で処理しますが、有価証券や固定資産など商品以外の取引は「**未収金**（みしゅうきん）」勘定（**資産**）で処理します。

① 未収金の発生時

後日代金を受け取る権利（資産）が生じ、商品の販売以外の取引であるため「未収金」勘定（資産）の増加として処理します。

例題９－１　土地1,000円を1,200円で売却し、代金は月末に受け取ることとした。

借方科目	金額	貸方科目	金額
未収金	**1,200**	**土地**	**1,000**
		固定資産売却益	**200**

② 未収金の回収時

未収金という資産が減少したので、「未収金」勘定（資産）の減少として処理します。

例題９－２　月末になり、土地の売却代金1,200円を現金で受け取った。

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	**1,200**	**未収金**	**1,200**

（2）未払金とは？

取引時には代金を支払わず、後日、一定の日に代金を支払う場合があります。この後日支払う代金（義務）は、商品を仕入れた時は「買掛金（かいかけきん）」勘定（負債）で処理しますが、有価証券や固定資産など商品以外の取引は「**未払金（みばらいきん）**」勘定（**負債**）で処理します。

① 未払金の発生時

後日代金を支払う義務（負債）が生じ、商品の仕入以外の取引であるため「未払金」勘定（負債）の増加として処理します。

例題９－３　土地1,000円を購入し、代金は月末払いとした。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
土　　　地	**1,000**	**未　　払　　金**	**1,000**

② 未払金の支払時

未払金という負債が減少したので、「未払金」勘定（負債）の減少として処理します。

例題９－４　月末になり、土地の購入代金1,000円を現金で支払った。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
未　　払　　金	**1,000**	**現　　　金**	**1,000**

９－２　仮払金・仮受金

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　仮払金・仮受金の内容を理解しよう！

②　発生と消滅の仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「仮払金」勘定（資産）

「仮受金」勘定（負債）

現金の支払や受取があったが、その内容がわからなかったり、金額や相手勘定科目が決まっていないことがあります。この場合、相手勘定科目や金額が決まるまで一時的に「**仮払金**（かりばらいきん）」勘定（**資産**）や「**仮受金**（かりうけきん）」勘定（**負債**）で処理しておきます。

そして、内容が判明し、金額や相手勘定科目が確定したら、適切な勘定に振り替えます。

（１）仮払金

① 仮払金の支払時

まだ、交通費等の費用の金額が確定していないので、一時的に「仮払金」勘定（資産）の増加として処理します。

例題９－５　従業員の出張にあたり、交通費の概算額（がいさんがく）として1,000円を現金で渡した。

借方科目	金額	貸方科目	金額
仮払金	**1,000**	**現金**	**1,000**

② 仮払金の精算

費用の金額が確定したので、「仮払金」勘定（資産）を減少させるとともに、適切な勘定に振り替えます。なお、仮払金があまって現金で返却を受けた場合、「現金」勘定（資産）の増加として処理します。

例題９－６　従業員が出張から戻り、概算額1,000円のうち、交通費として800円を使用したとの報告を受け、残金200円は現金で受け取った。

借方科目	金額	貸方科目	金額
交通費	**800**	**仮払金**	**1,000**
現金	**200**		

（2）仮受金

①　仮受金の発生時

内容が不明であるため、一時的に「仮受金」勘定（負債）の増加として処理します。

例題９－７　**当座預金に1,000円の入金があったが、内容が不明であった。**

借方科目	金　額	貸方科目	金　額
当　座　預　金	**1,000**	**仮　受　金**	**1,000**

②　仮受金の内容判明時

内容が判明したので、「仮受金」勘定（負債）を減少させるとともに、適切な勘定に振り替えます。

例題９－８　**内容不明な入金額1,000円の内容が、売掛金の決済額であることが判明した。**

借方科目	金　額	貸方科目	金　額
仮　受　金	**1,000**	**売　掛　金**	**1,000**

９－３　立替金・預り金

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　立替金・預り金の内容を理解しよう！

②　発生と消滅の仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「立替金」勘定（資産）

「預り金」勘定（負債）

（1）立替金

従業員が支払うべき金額を代わりに立て替えた場合など、金銭を一時的に立替払いする場合があります。これを**立替金**（たてかえきん）といいます。立て替えた金銭は、後日、返してもらう権利が生じますので、「**従業員立替金**（または、**立替金**）」勘定（**資産**）として処理します。

① 立替金の発生時

従業員に対する立替金は、「従業員立替金」勘定（資産）の増加として処理します。

例題９－９　従業員が負担すべき支出1,000円を現金で立て替えた。

借方科目	金額	貸方科目	金額
従業員立替金	**1,000**	**現金**	**1,000**

② 立替金の回収時

従業員に対する立替金を回収した場合、「従業員立替金」勘定（資産）の減少として処理します。

例題９－10　従業員に対する立替金1,000円の返金を現金で受けた。

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	**1,000**	**従業員立替金**	**1,000**

（2）預り金

従業員の給料に対して所得税（しょとくぜい）が課せられますが、従業員に給料を支払う際に、その給料から所得税を天引きし、残額を従業員に支払います。天引きしたお金は従業員に代わって、後日、税務署（ぜいむしょ）に支払います。これを**預り金**（あずかりきん）といいます。預かった金銭は、後日、支払う義務が生じますので、「**所得税預り金**（または、**預り金**、**従業員預り金**）」勘定（**負債**）として処理します。

① 預り金の発生時

所得税の預り金が生じた場合、「所得税預り金」勘定（負債）の増加として処理します。

例題９－11　給料10,000円のうち、所得税500円を差し引いた残額9,500円を現金で支払った。

借方科目	金額	貸方科目	金額
給料	**10,000**	**所得税預り金**	**500**
		現金	**9,500**

② 預り金の支払時

所得税の預り金を支払った場合、「所得税預り金」勘定（負債）の減少として処理します。

例題９－12　税務署に所得税500円を現金で支払った。

借方科目	金額	貸方科目	金額
所得税預り金	**500**	**現金**	**500**

第９章　その他の取引①　問題

問題9-1　以下の取引に関して、仕訳を行いなさい。

①　A社株式10,000円を購入し、代金は後日、支払うこととした。
②　X社株式10,000円を12,000円で売却し、代金は後日、受け取ることとした。
③　備品250,000円を購入し、代金は翌月末に支払うこととした。なお、当該備品の購入に際して引取費用2,000円が生じたが、現金で支払った。
④　土地77,000円を99,000円で販売し、代金は翌月末に受け取ることとした。
⑤　従業員の出張に際し、旅費の概算額40,000円を現金で支払った。
⑥　⑤の従業員が出張から戻り、旅費の残金として5,000円を現金で受け取った。
⑦　出張中の従業員から当座預金口座に35,000円の入金があったが、このうち25,000円は回収した売掛代金であるが、残額は不明であった。
⑧　⑦の原因不明な入金が得意先から注文を受けた商品100,000円の内金10,000円であることが判明した。
⑨　取引先の旅費4,000円を立替払いし、現金で支払った。
⑩　従業員に対する給料にかかる所得税10,000円を差し引き、手取金190,000円を当座より支払った。

第９章　その他の取引①　答案用紙

問題9-1

	借方科目	金　　額	貸方科目	金　　額
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
⑦				
⑧				
⑨				
⑩				

第９章　その他の取引①　解答解説

問題9-1　**解答**

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	有価証券	10,000	未払金	10,000
②	未収金	12,000	有価証券	10,000
			有価証券売却益	2,000
③	備品	252,000	未払金	250,000
			現金	2,000
④	未収金	99,000	土地	77,000
			固定資産売却益	22,000
⑤	仮払金	40,000	現金	40,000
⑥	旅費	35,000	仮払金	40,000
	現金	5,000		
⑦	当座預金	35,000	売掛金	25,000
			仮受金	10,000
⑧	仮受金	10,000	前受金	10,000
⑨	立替金	4,000	現金	4,000
⑩	給料	200,000	預り金	10,000
			当座預金	190,000

問題9-1　**解説**

①　商品以外の代金を後日支払う場合には「未払金」勘定（負債）で処理します。

②　商品以外の代金を後日受け取る場合には「未収金」勘定（資産）で処理します。

③　商品以外の代金を後日支払う場合には「未払金」勘定（負債）で処理します。

④　商品以外の代金を後日受け取る場合には「未収金」勘定（資産）で処理します。

⑤　勘定科目や金額が決まっていない支払については「仮払金」勘定（資産）で処理します。

⑥　勘定科目や金額が確定したら、「仮払金」勘定（資産）から適切な勘定へ振り替えます。

⑦　勘定科目が不明な入金があった場合、「仮受金」勘定（負債）で処理します。

⑧　内容が判明したら、「仮受金」勘定（負債）から適切な勘定へ振り替えます。

⑨　取引先の費用を立て替えた場合、「立替金」勘定（資産）で処理します。

⑩　従業員の所得税を預かった場合、「預り金」勘定（負債）で処理します。